

Ⅷ. 教科研究・特別研究  
教科研究：国語科、社会科、理科

## 第4回西尾市岩瀬文庫見学会

加藤直志

【抄録】 希望者を対象に、西尾市岩瀬文庫の見学会を実施した。第3回目からは、SSHの一環として位置づけている。学芸員や大学教授の先生から、岩瀬文庫の紹介や古典籍調査についてのお話を伺ったあと、実際に同文庫が収蔵する古典籍の一部を手にとって閲覧させていただいた。文法中心の、通常の古典の授業では学べない、我が国の書物文化について伝えようとする企画であった。また、生物学の源流ともいえる、本草学関係の本も閲覧し、文理の枠にとらわれない学習の機会となった。

【キーワード】 西尾市岩瀬文庫 古典籍 伝統的な言語文化 SSH 生物

平成26年7月23日（水）、西尾市岩瀬文庫見学会を開催した。第3回目に引き続き、今回も、SSHの一環として行った。古典文学を専門とする国語科・加藤直志と日本史を専門とする社会科・曾我雄司、さらには生物を専門とする理科・齋藤瞳の3名で引率した。事前に参加希望者を募り、当日は、中1～高2までの希望者20名が参加した。

岩瀬文庫は、1908（明治41）年に、西尾市の実業家岩瀬弥助が設立した私立図書館が起源で、戦後西尾市の施設となり、現在に至っている。同文庫には、『後奈良天皇宸翰般若心経』（重要文化財）、『枕草紙』（岩波書店の日本古典文学大系『枕草子』の底本）をはじめとする貴重な蔵書が約8万冊収蔵されている。

同文庫では、平成12年度より、新目録完成を目指した平成悉皆調査を実施しており、筆者が学生時代にその調査に参加していた。その縁もあり、同文庫主査学芸員の林知左子先生、同文庫資料調査会会長で名古屋大学大学院文学研究科教授の塩村耕先生のご協力のもと行っている。

午前中、林先生や塩村先生から、岩瀬文庫の説明、古典籍についての講義などをしていただき、午後は、実際に古典籍を手にとって見る事ができた。『本草図説』、『枕草子』のほか、『三国志』『平家物語』『源氏物語』『解剖存真図』などを閲覧した。また昼休みには、喫茶室で西尾名物の抹茶を注文するなど、古典籍以外にも楽しい一日になったようである。

来年度以降も、可能であれば同様の企画を続けていきたいと考えている。

### 参加した生徒の感想（一部）

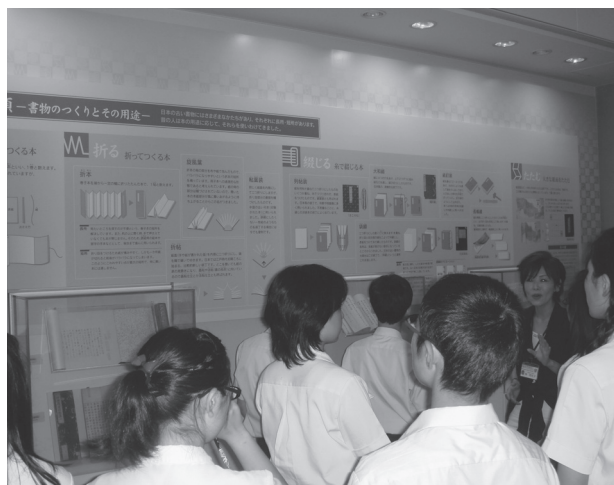
私が最も印象に残った体験は、最後に古典籍にふれたことです。古典籍は、今の大量生産の本とは違い、一つ一つとても大切にされて、後世に伝えられてきたものな

のだということが、実際に触れてみて初めて分かりました。本草図説は、全体のほんの一部しか読むことができませんでしたが、筆者の、するどい観察眼と生物そのものがそこにいるように感じるような絵のセンス、自然や未知の物事に対する好奇心が時代を超えてもお本全体から、溢れてくるようでした。生物のスケッチは写真よりも素敵で、見ていて飽きないものでした。

（高校2年女子）

そこで聞いた、膨大な書籍を整理している教授の話が、僕の心に一番残った出来事でした。古典を読み、資料を探し、当時の時代背景も考えて紙にまとめていく。こんな気の遠くなる作業を15年も続けることは、好きでなければ到底できません。この話を聞いた時、僕は、驚いてすごいと思い、かつうらやましくも思いました。何年たっても好きで、夢中になれる仕事があるというのは素晴らしいことだと思います。自分も大人になったらあぁいう素晴らしい仕事に就きたいと、切に思いました。

（中学1年男子）



西尾市岩瀬文庫見学会参加者の皆様へ

国語科・加藤直志

当日（7月23日）のタイムスケジュール

8：50 集合（時間厳守！）

名鉄金山駅中央改札口

9：09 金山駅発 特急（一部特別車）豊橋行き 9：29 新安城着

9：37 新安城発 普通西尾行き

9：58 西尾口着

徒歩（暑いかもしれないので飲み物持参がよいかも）

10：15 岩瀬文庫着

10：15～12：00 岩瀬文庫の紹介・古典籍についてのお話（岩瀬文庫主査学芸員 林知左子先生）

12：00～13：00 昼食休憩

※周辺の飲食店へ行く、お弁当を公園で食べるなど自由行動。ただし、コンビニや飲食店はやや遠い。文庫内の喫茶室で持参したお弁当を食べることは可。喫茶室では西尾の抹茶などを飲むことができます（ただし有料）。

13：00～ 「岩瀬文庫平成悉皆調査」<sup>しつかい</sup>についてのお話

（名古屋大学大学院文学研究科教授 塩村耕先生）

※塩村先生のご都合により変更することもあります。

閲覧室で資料閲覧

（岩瀬文庫主査学芸員 林知左子先生）

※閲覧室そのものは、午後4時まで開室しています。例年、4時まで本を見る人と少し早めに帰る人に分かれて帰ります。早めに帰る場合、金山駅に着くのは、午後4時過ぎくらい、最後まで残った場合は午後5時過ぎくらいになります。保護者の方に予定を伝えておくこと（特に中学生）。

持ち物・服装

制服着用、昼食（近隣の飲食店やコンビニを利用してもよいが、やや遠い）、道中暑いかもしれないので飲み物、筆記用具（鉛筆）、自宅から金山駅までの交通費（金山以降は、SSHの予算で支払われます。自分で切符を買わないこと。）

古典籍に触れますので、爪は切っておくこと。指輪、時計はその場で外してもらいます。

その他

当日、急病などで欠席する場合は、8時30分までに学校に電話してください。

台風接近などの際にはやむをえず中止する場合があります。その場合は、学校のホームページに掲載します。